

修士論文（又は特定課題研究）要旨 （日本語）

題 目

学生チューターの質の保証をおこなうためのガイドラインの作成と評価

要 旨

現在日本では、学生の成長を促すための指導の一環として、授業以外での学習支援を行なう大学が増えてきている。この学習支援を行なう人材として重要な役割を担っているのが、大学院生や学部の上級生が担当する学生チューターである。その役割は、新入生や学習につまずいた学生が自立した学習ができるように支援をすることである。また、この場合の支援は、学習支援に限定するものとする。

アメリカにおいては、CRLAの認証制度にもとづくITTPCのチュータートレーニングがあり、この研修でチューターの質の保証を行っている。しかし、日本においては、このような質を保証するような事例はほとんど見られない。そこで、この研究では 学習ピアサポート・カイトラインを作成した先行研究や北米の大学のガイドライン等を調査し、学生チューターの質の保証に寄与するために新たなガイドラインを作成した。

なお、ガイドラインの策定にあたっては、日米27大学、機関のチューターハンドブック、ガイドライン、マニュアル等からチュータリングに必要な要素を抽出し、統合してガイドラインを完成した。このガイドラインは、2段階にわたる形成的評価により改訂している。最後にガイドラインが、チューターの質の保証に繋がるものであったかどうかの考察を行い、今後の課題を考えてみた。